

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 24 年 3 月 8 日(木)19:30～20:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 4名 欠席委員数 3名
出席委員の氏名 深田 剛／川畑 裕徳／三井 直子／野村 真仁
欠席委員の氏名 椛山 晶典／稲沢 裕子／俵 淳子
放送事業者側出席者名
麓憲吾／丸田 泰史／沖元 眞実／元井 庸介／上野 紋／渡 陽子

4 議題

番組内容の審議(「マンディ・ドミンゴ」について)

5 議事の概要

- (1) 欠席者のお知らせ
- (2) 番組内容の審議(「マンディ・ドミンゴ」について)
- (3) 任期終了にともない、各委員からひとこと
- (4) 理事長 麓より閉会のご挨拶

6 審議内容

事務局からご報告

- (1) 椛山委員、稲沢委員、俵委員の欠席の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(マンディ・ドミンゴ)

深田委員長

それでは順番にご意見伺ってまいりたいと思います。川畑委員からお願い致します。

川畑委員

マンディ・ドミンゴを聞かせていただきました。「ナキャワキャ島自慢」今回は 1 月 5 日の紬の日について取材をされているんですね。僕も紬に携わっていますが、本当にいろんな方が紬を着けているという印象です。紬を両親や祖父母から受け継いでいるという方が多いのですが、紬そのものと共に、思い出も受け継いでいるのがわかりとても良いなあと感じました。伝統文化を引き継いでいるという印象を受けました。僕もこの宝を引き継いでいきたいと思いました。もうひとつの、「島の宝奄美っ子」は聴いているだけで顔がほころんでしまう番組でした。歌を歌ってみてと言われてためらいなくすぐ歌うところなど、子供の純粹なところがすごく微笑ましかったです。まとめて聴けたので、濃く伝わるなあと感じました。

深田委員長

日曜の朝 11 時からという時間帯はいかがでしたでしょうか？

川畑委員

そうですね。良いと思いますが、日曜日にもう一度再放送が合っても良いのかも知れませんね。元気がもらえる番組なのでもっと聴けると良いかなと思いました。

深田委員長

ここで、欠席の稲沢委員からお預かりしているご意見を、代読させて頂きたいと思います。

「今日は、審議委員会最後の日なのに出席できず、申し訳ありません。さて、前回のお題「マンディ・ドミンゴ」ですがとっても楽しく興味深く聴かせていただきました。紬の日の集い特集ですが、531人の方が大島紬を着られて大成功だったんですね！それぞれに、大島紬に対する思いや物語が聴けてとってもよかったです。親から子へと世代を経て受け継がれる大島紬これをきっかけに、また大島紬が盛り上がるんじゃないかと思いました。そして、聞き手の上野さんも、実際に初めて大島紬をつけての感想などもまだ大島紬を着たことのない方にも着てみたいと思えたんじゃないかと思います。

また、男性の声を取り上げたのもよかったです。男性女性、年齢を問わずみんなで大島紬を嬉しい気持ちで着ている感じが伝わってよかったです。あと、私が特に印象に残ったのは、80年間大島紬を織り続け、昨年卒業されたヨシさんのお話です。とても興味深くよかったです。インタビューで、大島紬を着ての感想、自分が着ている大島紬の物語、手入れの仕方、作り方まで放送されていたのはすごいな～と思いました。

「島の宝奄美っ子」は、子供奄美歌謡教室があると言うのをラジオを聴いて知りました。子供たち一人一人のインタビューや歌まで歌ってもらってよかったです。それにもまして渡さんのインタビューの様子が、時々「はげ～」とか「よかったち思いますか？」とか、「がんばらんばいかんやーち」などなど、ついでしまう島口が親しみをもて、聴きながら笑ってしまいそうになったりして私は楽しい番組だと思います。

野村委員

こちらにIターンとして来て、紬のことにに関して知らないことが多く、凄く勉強になりました。引き込まれました。親子の絆、良いものを次の世代へ伝えていくという意味で個人的に凄く気に入りました。

次の、「島の宝奄美っ子」子供が歌い、良いのですが聴いたあとのリアクションが少し寂しいなあと感じました。伴奏もなしに子ども達が上手に歌うのですが、その後拍手も無く次に流れていってしまうのが寂しいなあと感じました。僕はすべての島の方言がわかるわけではないので、うまく言葉が聞き取れない部分もあったのですが、情景や雰囲気は伝わりました。

深田委員長

野村さんは、機械扱いや製造を携わっていらっしゃると思いますが、紬製作の様に他この番組でとりあげられそうな事柄はないでしょうか？

野村委員

他にというと少し難しいですが、音だけですべてを伝えないといけないので、工程の中の音などを入れてもらえるとうち少し伝わりやすいかなと思いました。言葉だけでは伝わりにくいものはありますよね。ただ、このマンディ・ドミンゴは親から子へとという世代間で伝わるというテーマがすごく共感しました。

深田委員長

ここで、欠席の俵委員からお預かりしているご意見を、代読させて頂きたいと思います。

「皆様、お疲れ様です。俵です。審議会最後の会にも関わらず今回、子どもの PTA の役員会とダブルブッキングしてしまい、参加することができず申し訳ございません。早速ですが、今回の審議対象番組、「なきやわきや島自慢～紬の日～」 「島の宝奄美っ子」につきまして、いつもは口頭で思いつくままにお話しするだけなので、うまく伝えられるかわかりませんがご意見させていただきます。まず、私なりに以下の4点を視点に拝聴してみました。①番組構成・流れについて②ナレーションの内容について③声と環境音のバランス、間について④時間配分について

これらの視点を踏まえ、拝聴させていただきましたが2つの番組ともそれぞれの主旨および臨場感が聞き手側に伝わる素晴らしい番組で申し分ありませんでした。感想としては、まず「なきやわきや島自慢」については“紬の日”がテーマということでまず印象に残っているのは、インタビューされる人のほとんどの方の声からウキウキしている様子が見てとれました。老若男女、みなさん、紬を着けることが本当に嬉しいんですね。また1週間を通じ、多世代の方々にインタビューすることで、それぞれの世代の楽しみ方や紬離れにつながる意見にはヒント(成人を迎える女性の率直な意見＝自分には似合わない⇒どうしたら似合うのか?)が見え、私もまずは紬の日からデビューしてみようかと思いました。紬関係者の方にも考えるよききっかけになったのではないかと思います。

次に「島の宝奄美っ子」についてはまず私自身、このような教室があること自体を知りませんでした。とてもいい取組かと思います。特に印象的だったのは、参加している子どもたちの特徴として、祖母からのすすめ、姉妹で参加しているケースが多く、島ならではの世代間の交流が根付く一つの手段につながると感じました。想像ですが、この取り組みをとおしていろいろないい効果があるのではないかと思います。例えば、祖母世代は孫と触れ合うきっかけになり、このことがおばあちゃんの楽しみやいきがいにつながり(このことは健康にもつながると思います)、また孫は祖母や家族からの励ましや褒められることで、いろんなことに取り組む勇気につながり自信がつくと思います。また、子どもたちの素直な意見や子どもならではの気持ちの変化もかわいらしく、つつい、笑みがこぼれてしまいました。(最初は面白くなかったけど～徐々に楽しくなってきた等)きっとこのラジオを通して中島昭ファンのおばあちゃん&お孫さん世代がさらに参加向上に一旦するだろうなあと確信し、聞かせていただきました。

三井委員

皆さんが言われたように奄美でしかできない、素敵などとも良い番組だと思います。ナキャワキヤ島自慢のほうですが、他のバージョンを聴いていないので分からないところもあるのですが、イベントの状況を伝えていてとても雰囲気伝わってよかったということを踏まえて、他に何か取り上げるべきものがあるかなと考えてみました。あまみシマ博覧会(体験型の観光イベント)というのやっていますよね。あれをいくつか取り上げてみても面白いのではないかなと思いました。大変だと思いますが自分自身も先日参加してみても面白かったのです。

もうひとつの、島の宝奄美っ子は私も子供に携わる仕事をしていますがやはりラジオから子供の声が聞こえてくるというのは良いですね。それだけで癒されて、耳が聴き入ってしまうし、親や関係者も必ず聴きますしね。子供対象の番組は大切だと感じました。時間帯について、1週間分まとめて放送するのは1度だけなんですよね?もう一度あっても良いのかなと思いました。朝と夜とか。あと、もうひとつ細かい点なのですが、紬の日のBGMがハワイアンのような曲でした。80代の方のインタビューの時に少し合っていないかなという風に感じました。選曲は難しいと思うのですが、あの曲で良いのかなという感じはしました。

深田委員長

ありがとうございました。それでは最後になりますが、私のほうから感想述べたいと思います。

この番組は良い悪いではなく、必要であると感じました。アットホームな島の雰囲気が出る番組は無くしてはならないなと思いました。80代の方のインタビューがありました。ああいう方が出てくることによって、その方のお孫さんやご家族が聴く、ラジオが皆の思い出を作る仕事もしているんだなと感じました。あと、子供のインタビューを聴いていてとても上手にしゃべるなあと感じ、どうやって作っているのか聴いてみたいと思いました。時間帯も日曜日で、親子一緒に聴ける時間帯でいいなと思いました。さっき意見も出しましたが、確かにもう一度くらいあっても良いのかなと思いました。また、今回紬の日の特集でしたが、もっと行政のイベントなどと絡んでいけるといいなあと感じています。インタビューの後ろの音がガヤガヤしているのですが、逆にそれが味で臨場感があって私はいいなと感じました。

(3) 任期終了にともない、各委員からひとこと

深田委員長

今日で今期の番組審議会は終了となります。各委員から意見・提言など一言ずつお願い致します。

川畑委員

一年間ありがとうございました。声をかけて頂くまではただ聴いているだけだったのですが、こういう審議会をやっているのがわかり、意見を交換することでラジオがどんどん向上していくのだなと思いました。また、この会を通じて知り合った方々との縁もあり良かったと思う次第です。

野村委員

仕事の都合で、欠席が多かったのですが、僕も声をかけてもらって初めてこういう番組審議会というものを知りました。今まで、ただラジオを聴いていてふーんと思っていたのですが、こういう風にラジオっていろんな人の意見によって作られているのだなあと知り、いい勉強をさせて頂きました。聴く層はいろんな年代があるので作る側は大変だと思いますが、これからも耳がダンボになるようないい番組を作ってください。よろしくお願い致します。

三井委員

一年間ありがとうございました。私は上京後、島に戻ってきて「ああ島面白くないなあ」と思っていて、スローでゆっくりな感じがつまらないなあと感じていました。この審議会に参加してみて、こんなに島を盛り上げようと頑張っている人たちがいることを知って接することができたとても良い経験でした。島をもう一度好きになるきっかけを与えてくださったことに感謝しています。今回、審議委員は終了しますが、前とは違う目線で島の良いところなどを見ていけると感じます。何かしらの形で今後もあまみエフエムと関わっていけたらいいなと思っています。

深田委員長

委員のみなさま本当にお疲れ様でした。性別・年代・職業も違う人たちがひとつの議題に関して1時間話し合うという機会をもつということは、本当にあまみエフエムに良くなって欲しいという熱い思いからですね。前回の審議会のあとは新年会でしたが、そこでお酒を酌み交わせたことがとても距離が近づいたなと感じました。皆さんと出会えてよかったなと思いました。番組審議会の存在さえ知らなかったのも、裏で多くの方が番組に関わって支えているんだなということがわかり歴代の番組審議委員の方にも敬意を表したいと思います。今後もあまみエフ

エムがどんどん盛り上がり行って欲しいので、陰ながら応援したいのと島外の方との架け橋にぜひなって頂きたいというのがあります。僕の反省点としては、商売っ気のあるスポンサーのとれるような提案やアドバイスを差し上げることが出来たら良かったかなと思いました。一年間ありがとうございました。

(4) 理事長 麓より閉会のご挨拶

一放送局 麓

審議委員の皆様、お忙しい中一年間お集まり頂きまして本当にありがとうございました。今年度も様々な意見を頂きました。自分たちもスタジオの中にももっていることが多いので、本当は取材の現場でリアルなことが発生しているはずなのですが、なかなか、かいつまんでしか放送できないことが多いので、この審議会のこともですが、もっと島の中でコミュニケーションをとって島で今日一日何が起きているのかということをお届けされるよう触覚を磨いていきたいなと思っています。人数が限られておりますので、深田委員長も先ほどおっしゃっていましたが、歴代の審議委員の皆様と同様、この後も私たちにご意見を頂き番組に反映していきたいと考えておりますので、忌憚のない意見を頂戴したいと思っております。

私たちもまだ若い世代なので、老若男女すべての世代の意見をまだ汲み取れていないので、もっと視野を広げて、知識を生かして、また貯えて、島を伝えられればなあと考えております。次世代に若い世代、子供たちに放送を通してコミュニケーションを通して島を伝えて、島のアイデンティティと島を出て行ってから、戻るきっかけになれば、島の人口減少を食い止められるように、また増やせるようにできればなあと考えておりますので、お力添えの程、今後ともよろしくお願い致します。ありがとうございました。

一放送局 丸田

以上を持ちまして、今年度の番組審議会を終了したいと思います。皆様本当にありがとうございました。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成24年3月14日(水曜日)17:30-「ゆぶいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き:平成24年3月14日(水曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成24年3月14日(水曜日)より当法人インターネットのホームページに掲載

9 その他の参考事項 なし